

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2 年	2	必修
担当教員			
築 雅之			
B（経営学科）	S（専門科目）	BA（経営）	202（中級科目）

授業のねらい（概要）	「企業経営の様々な局面で求められる情報の諸相と活用」をテーマとして、経営の諸活動に関する情報を収集・処理・分析し、表現する知識と技術を習得させ、情報の意義や役割について理解させるとともに、経営の諸活動において情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報に関する知識と技術について学ぶとともに、情報通信ネットワークを活用することの意義や課題について解説したうえで、情報通信技術を電子商取引に応用する知識と方法を学習する。 DP2「情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢」の育成を中心的な目的とし、比較的小規模かつ非定型で個人レベルで処理する情報を対象とする。併せてDP1「職業人的倫理観を持ち、組織で協働できる能力」の前提となる「職業」「組織」に関する基礎的な知識を情報の視点から身に付け、DP3「専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力」の基礎的な学びと応用を行ない、後続の学修へ接続させる。		
授業計画	第1回	【遠隔】イントロダクション 「企業組織と情報」 予習（時間）：シラバスや掲示を確認し、教材用サイトを利用できるようにする（60） 復習（時間）：授業時の指示に従い、予習復習用のPCやスマートフォン、ネットワーク環境の整備を行う（180）	
	第2回	【遠隔】ライン部門と情報1：品質管理と統計、生産シミュレーション(オペレーションリサーチ1) 予習（時間）：前回の指示に従い、キーワードを確認し、例題をPCあるいはスマートフォンで解き授業用サイトに書き込む（120） 復習（時間）：授業時の指示に従い、演習問題に取り組み、リフレクションシートとともに授業用サイトに書き込む（120）	
	第3回	【遠隔】ライン部門と情報2：物流戦略、在庫管理のためのデータベースとRFIDタグの活用 予習（時間）：前回の指示に従い、キーワードを確認し、例題をPCあるいはスマートフォンで解き授業用サイトに書き込む（120） 復習（時間）：授業時の指示に従い、演習問題に取り組み、リフレクションシートとともに授業用サイトに書き込む（120）	
	第4回	【遠隔】ライン部門と情報3：販売分析(成長率、構成率、損益分岐、ABC分析、クロス集計と回帰) 予習（時間）：前回の指示に従い、キーワードを確認し、例題をPCあるいはスマートフォンで解き授業用サイトに書き込む（120） 復習（時間）：授業時の指示に従い、演習問題に取り組み、リフレクションシートとともに授業用サイトに書き込む（120）	
	第5回	ライン部門と情報4：金融等データ分析(利率計算、株式評価) 営業支援 予習（時間）：前回の指示に従い、キーワードを確認し、例題をPCあるいはスマートフォンで解き授業用サイトに書き込む（120） 復習（時間）：授業時の指示に従い、演習問題に取り組み、リフレクションシートとともに授業用サイトに書き込む（120）	
	第6回	スタッフ部門と情報1：経理データと財務分析(収益性、安全性)、人事データと人員配置 予習（時間）：前回の指示に従い、キーワードを確認し、例題をPCあるいはスマートフォンで解き授業用サイトに書き込む（120） 復習（時間）：授業時の指示に従い、演習問題に取り組み、リフレクションシートとともに授業用サイトに書き込む（120）	
	第7回	【課題】スタッフ部門と情報2：企画・広報資料作成とプレゼンテーション、顧客管理とデータベース 予習（時間）：前回の指示に従い、キーワードを確認し、例題をPCあるいはスマートフォンで解き授業用サイトに書き込む（120） 復習（時間）：授業時の指示に従い、演習問題に取り組み、リフレクションシートとともに授業用サイトに書き込む（120）	
	第8回	最高経営層と情報1：意思決定と情報の意義 経営戦略と情報(オペレーションリサーチ2) 予習（時間）：前回の指示に従い、キーワードを確認し、例題をPCあるいはスマートフォンで解き授業用サイトに書き込む（120） 復習（時間）：授業時の指示に従い、小レポートに取り組み、リフレクションシートとともに授業用サイトに書き込む（120）	
	第9回	最高経営層と情報2：ERP、BIへの統合 予習（時間）：前回の指示に従い、キーワードを確認し、例題をPCあるいはスマートフォンで解き授業用サイトに書き込む（120） 復習（時間）：授業時の指示に従い、小レポートに取り組み、リフレクションシートとともに授業用サイトに書き込む（120）	
	第10回	事例研究1：ビジネスプロセスの統合管理とERP、オープンソースERPパッケージの利用 予習（時間）：前回の指示に従い、キーワードの確認と解説記事を読み、コメントを授業用サイトに書き込む（120） 復習（時間）：授業時の指示に従い、試用を踏まえた小レポートに取り組み、リフレクションシートとともに授業用サイトに書き込む（120）	
	第11回	【課題】事例研究2 楽天、amazon、Yahoo比較、出店者のから見た情報活用、SNSマーケティング 予習（時間）：前回の指示に従い、キーワードの確認と解説記事を読み、コメントを授業用サイトに書き込む（120） 復習（時間）：授業時の指示に従い、調査結果を小レポートにまとめ、リフレクションシートとともに授業用サイトに書き込む（120）	

	第12回 事例研究3 グループウェアとナレッジマネジメント、企業組織と企業内人的ネットワーク 予習（時間）：前回の指示に従い、キーワードの確認と解説記事を読み、コメントを授業用サイトに書き込む（120） 復習（時間）：授業時の指示に従い、試用を踏まえた小レポートに取り組み、リフレクションシートとともに授業用サイトに書き込む（120） 第13回 【課題】事例研究4 ビジネスモデルと情報通信技術、EMS等 予習（時間）：前回の指示に従い、キーワードの確認と解説記事を読み、コメントを授業用サイトに書き込む（120） 復習（時間）：授業時の指示に従い、調査結果を小レポートにまとめ、リフレクションシートとともに授業用サイトに書き込む（120） 第14回 企業経営における情報活用と法的、倫理的課題 予習（時間）：前回の指示に従い、キーワードの確認と解説記事を読み、コメントを授業用サイトに書き込む（120） 復習（時間）：授業時の指示に従い、調査結果を小レポートにまとめ、リフレクションシートとともに授業用サイトに書き込む（120） 第15回 まとめ 予習（時間）：前回の指示に従い課題に取り組み、コメントを授業用サイトに書き込む（120） 復習（時間）：授業時の指示に従い、小レポートをまとめ、リフレクションシートとともに授業用サイトに書き込む（120）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP(商学部)の2項目を意識した科目となっている。 2. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 3. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力 DP(経営学科)の1項目を意識した科目となっている。 2. 経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）を多面的に理解し、活用できる能力 【身に付くスキル】 情報活用能力・職業倫理観
到達目標	1. 企業経営に伴い発生し処理される情報や分析手法について基礎的な知識と技能がある。 2. 企業経営における情報活用の意義と必要性について事例に基き自分の考えを述べることができる 3. 電子商取引等、企業における情報通信技術の応用について基本的な知識と技能がある。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	授業時間内あるいはMellyでの文書で全体的な解説を行うとともに、必要に応じて個別への指示を行う。課題内容についての質問もMellyで受け付ける。
履修上の注意	毎回内容を積み重ねてゆく性質の講義科目であり、予復習にPC等を使用した実習も含む。また、毎回の事前、事後の課題等も評価対象となる。そのために極力欠席は避けること。 授業時も、クリッカーあるいは学生所有端末を利用して理解度等の確認を随時行い内容を調節する。積極的に参加・活用することが求められる。
成績評価の方法・基準	定期試験50% 課題20% 学修意欲30%
教科書	
参考書・教材	【参考書】「経営情報論」 著者名：遠山 村田 岸 出版社：有斐閣 【教材】授業担当者が作成した、紙媒体での資料、授業用サイト、PC用データ、プログラムを使用する。教員の指示に従うこと。
備考	講義科目 2020年度前期は、7、11、13回を課題研究として学修する。 第7回 当初シラバスの「授業時の講義内容」に充当する資料と「授業時の指示」を代替する資料の配信、および作業指示をmellyなどで行い、調査結果の小レポート作成や提出は当初シラバス通りに実施する。これらの指示確認等を5、6回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。 第11回 第7回同様の実施として、指示確認を9、10回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。 第13回 第7回同様の実施として、指示確認を12、14回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。 「成績評価の方法・基準」欄の「定期試験」は「最終レポート」で代替する。実施方法の詳細と評価基準は第1回で概要を授業中およびmellyで告知し、詳細を第11回で同様に告知する。
教員との連絡方法	大学ドメインのメール、Mellyでの個別連絡を併用。Line、Gmail等は原則として使用しない。